

山形講座通信



「社会人力育成山形講座」は、山形県内の多様な教育資源を取り入れながら、国公立の枠を超えた山形県内の高等教育機関、自治体および経済界が連携した共同教育プログラムです。これにより学生の社会力（コミュニケーション力・課題解決力・リーダーシップ）を育成します。
各授業の様子や本取組の詳細は以下のホームページに掲載しております。（<http://sodateru-y.jp/>）

授業紹介

山形起業教育科目 「起業論」・「起業演習」

東北芸術工科大学 講師 池田 知之



起業論は「社長」の意識でいきいきと働く人材の育成を目標としています。

社長の視点を学びながら自分の目標達成に必要なものを発見してもらいます。しかし「社長」の本質を知るとはとても難しい挑戦だと思います。なぜなら、社長のことは社長をしてみないと分からないからです。実践に勝るものはありません。その為、受講生の皆さんには授業で学んだことを実践するように勧めています。早速夏休みを利用して見聞を広める旅に出る学生や活動内容をレポートとしてまとめる学生もおります。直ぐに実践できないものもありますので、その手助けとなる具体的な起業経験の講義、現役起業家の生の声を

聞くゲストスピーチを実施しています。具体的な起業経験では、実際に起業を経験した実験済みの経営手法と起業家精神（どのような精神を持つ必要があるのか、どのような目標設定が必要なのか、どのような仲間・協力者が 필요한のか、社会に必要とされる事業とは何かなど）を解説します。

そして、現役の起業家から起業家精神を直に伝えていただきます。心ときめく遣り甲斐のあるお話から苦渋の決断・不安や恐怖で揺れる当時の心境など、起業を目指す、起業を理解しようと挑戦する受講生には引き込まれる内容であるでしょう。

社長は普段何をしているのか？責任やリスクを伴う大変な仕事だとは想像できますが、その実態を知ることで起業を選択する意味を実感することが出来ます。起業家を生み出すことも重要ですが、能動的に目標を持って仕事や事業を「起業」する人材が育つことを願っております。

受講生の声

私は、昨年の前期に行われた「起業論」と「起業演習」を受講しました。この授業では、起業に対する自分自身の具体的な対策、意識の向上は勿論の事、実際に起業をした際に発生するお金の管理の仕方や、会社の動かし方など、たくさんの事を学びました。また、実際に起業をして、今現在活躍されている社長の方のお話を伺う機会も多く、学生のうちにやっておくべき事や、今まで経験してきた苦労話など、これから起業をしたいと考えている自分にとつ

東北芸術工科大学 デザイン工学部
プロダクトデザイン学科 2年 加藤 楓



て、大変になるお話を伺う事が出来ました。

今まで「起業をしたい」という願望を抱いていただけの自分に、具体的な方法と、社長としてのあり方を教えて頂き、より夢に近づいたと感じています。これからも学んだことを忘れず、精進して行きたいと思います。



優れた先輩起業家がゲストに



授業風景



ビジネスプランの発表

～企業ニーズにマッチした山形講座～

連携取組評価部会長 長岡 喬



ボトムアップ型の論議が重視され、社員同士の横断的な意見の交換に重きが置かれるようになってきた。そこで交わされるコミュニケーションでは一般的に、自分の考えを分かりやすく整理して伝える「話す力」、他人の意見を理解する「聴く力」、そして、それぞれの考え方の意味や提起された課題の背景などを「分析する力」、「読み取る力」が問われ、そうしたニーズに適切、的確に対応することが、今、社会人に求められているという。

山形講座のうち、リーダーシップ教育科目「リーダーシップ入門2」をこの夏、参観した。勝手に解釈するなら、コミュニケーション能力を備えたリーダーシップを有する人材の育成を念頭に置いている科目のようで、講師の企業経営者に対する質疑応答の進行役といったグループワークの運営は

学生の主体的判断に任せ、学生にはさらに講話に対する感想を、自分の言葉できちんと表現するよう求めていた。とはいえ、学生は学部3年から短大1年までと幅広く、表現内容や整理の仕方にも開きがあり、経験のあるなしが見え隠れする場面も。逆に学習成果がそれなりに反映された例も散見された。これまでの教育が結実しつつあるというべきか。

経団連が行っている「新卒採用時に重視した要素についてのアンケート調査」で、「コミュニケーション能力」がことしまで10年連続で1位をキープした。主体性、チャレンジ精神が例年のように2、3位となったが、コミュニケーション、主体性を要求する比重は年々高まっており、企業が殊のほか、この2要素を重視していることが浮き彫りにされた。

コミュニケーション能力と主体性、そして社会が必要とする課題解決力を持った人材育成を目指す山形講座のプログラムは、こうした経団連調査で浮かんだ企業のニーズにマッチする。時代の要請が映し出されたのか、単なる偶然の一致なのか分からない。ただ、リーダーシップ教育をはじめ山形講座の発展が楽しみになってきたことだけは間違いない。

山形講座で企業から学ぶ社会人力

社会から求められる人材育成を目的とする山形講座では、連携いただいているステークホルダーの他にも、県内外の多数の企業にご協力いただきながら、教育プログラムを実施しています。そこでは、講師としてご自身の経験や社会人の視点をご教授いただくだけでなく、学生の受け入れや奨学寄付金など様々な形でご協力いただいております。(下記は、これまでに決定している今年度の協力企業になります。)

協力企業	本社所在地	授業との関わり	科目	担当教員	
株式会社タカハタ電子 タカミヤホテルグループ	米沢市 山形市	講師 講師	リーダーシップ入門1	柴田 孝	
株式会社シェルター NEC/パーソナルコンピュータ株式会社 ピーキューブ株式会社	山形市 東京都 神奈川県	講師 講師 講師	リーダーシップ入門2		
株式会社 横山芳夫建築設計監理事務所 経済産業省東北経済産業局	宮城県 宮城県	講師 講師	リーダーシップ応用1		
日本航空株式会社 米沢信用金庫 オリエンタルカーベット株式会社	東京都 米沢市 山辺町	講師 講師 講師	アントレプレナーシップ論a		青木 孝弘
出羽桜酒造株式会社 山王まちづくり株式会社 東北に若者の雇用をつくる株式会社 焼鳥専門店 鈴	天童市 鶴岡市 庄内町 遊佐町	講師 ヒアリング ヒアリング ヒアリング			
日本政策金融公庫酒田支店 有限会社 熊谷園芸	酒田市 鮭川村	アドバイザー 講師(資源調査訪問先)			
株式会社モンテディオ山形 株式会社きらやか銀行 鶴岡信用金庫 山形信用金庫 米沢信用金庫	天童市 山形市 鶴岡市 山形市 米沢市	学生受け入れ 奨学寄付金(授業経費) 奨学寄付金(授業経費) 奨学寄付金(授業経費) 奨学寄付金(授業経費)	エコスタジアムプロジェクトを考えよう 山形を元気にする企業家に学ぶ	福島 真司	
山形県中小企業家同友会 株式会社アイ・エム・シー やまがたシティエフエム株式会社 ウェブオンライン	山形市 山形市 山形市 南陽市	講師、学生受け入れ 講師、記事掲載枠提供 番組枠提供 講師	実践的コミュニケーション学		
株式会社セロン東北 NDソフトウェア株式会社	山形市 南陽市	奨学寄付金(授業経費) 講師、学生受け入れ	感じる山形3 山形の森づくり体験		滝澤 匡

スタッフ紹介

東北文科大学・東北文科大学短期大学部 事務補佐員



小笠原 広美

「学生の社会人力を育成する」というねらいで昨年度からスタートした本講座、事務補佐員という立場からは色んなものが見えてきます。先生方は熱い思いを込めて授業の準備をされ、会議等ではもっと良いものにするためにあれこれ議論し、連携機関の方々のご理解、快く受け入れてくださる地域の方々や講師の方々のご協力。そして、学生達の素直な“感じ方”“考え方”に触れ、これからどんなふうになるか楽しみです。私自身、改めて「社会人育成山形講座」の魅力を日々感じております。

[編集・発行] 大学コンソーシアムやまがた・山形人材育成委員会 (山形大学教育・学生支援部サテライト) 〒990-0039 山形県山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1F TEL:023-641-2681 FAX:023-641-2682 e-mail:sodateru-y@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形人材育成委員会

山形大学・山形県立保健医療大学・東北芸術工科大学・東北公益文科大学・東北文科大学・山形県立米沢女子短期大学・羽陽学園短期大学・東北文科大学短期大学部・鶴岡工業高等専門学校・山形県立産業技術短期大学校・山形工科短期大学校・山形県・山形県市長会・山形県町村会・山形県商工会議所連合会・山形県商工会連合会・山形県中小企業団体中央会・(一社)山形県経営者協会